

工藤 けいこ



ごあいさつ

皆さまには平素より、温かいご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

働きながら3人の子どもを育てた「母親目線」「女性目線」を活かした子育てサポート施策の充実と、地域共生食堂の運営や南花台クルクルなどのボランティア活動から得られる「現場目線」を活かした高齢者サポート施策など、より深く幅広い市民サービスの拡充を目指し、これからも全力で取り組んでまいります！

河内長野市議会議員 工藤 けいこ

令和7年3月市議会定例会のご報告

子どもたちが体験を通して楽しく学べるだけでなく、
学校に行きづらくなった児童・生徒や、その保護者にも寄り添う学校運営を目指して。

工藤

「必修教科＋栄養教育＋人間形成」の3つをゴールとし、持続可能な生き方、エコロジーを理解する知性、自然界との絆を身につけさせることを目的とした、食育すること、いのちのつながりを学校で教える、エディブル・スクールヤードの仕組みを導入してはどうか。

答弁

本市でも、体験的な学びは重要と考えており、総合的な学習の時間を中心に、問題解決型、探求的な学びや、地域企業での企業体験・農業体験・林業体験などの体験的な学びの機会を創出し、学びの充実に努めています。

今後、河内長野市にしかない地域の人や自然・文化遺産等を活用し、子ども達が体験的に学びを深められるよう努めてまいります。

※エディブル・スクールヤード(食べられる校庭)とは
子どもたちが自分の手で畑の野菜を育て、調理して食べることで、体験的に命のつながりと持続可能な生き方を学ぶ教育プログラムです。

工藤

学校に行きづらくなった児童・生徒に給食を提供する場をつくり、社会とのつながりを届ける仕組みを導入してはどうか。

答弁

本市においては、学校に行きづらい子どもたちが自分の教室で給食を食べることのできない場合には、校内支援ルームなどの別室での対応を行っています。

実施するためには、保護者の協力が必要であることや、アレルギーなどに関して、教員とは違う人材が対応することによる体制の確保等、解決すべき課題もあることから、教育委員会としましては、保護者のニーズ等を把握しながら、実施自治体の事例なども参考に研究してまいります。

工藤

全ての放課後児童会に、長期休業期間中の希望選択制の昼食サービスを導入してはどうか。

答弁

放課後児童会では、長期休業期間中のお弁当は保護者にご用意いただいているが、保護者会からは、負担が大きく食中毒が心配なため、別途費用が発生しても構わないので希望者のみ昼食を提供して欲しいとのことご要望をいただいています。

そこで、その方策の一つとして新学校給食センターを活用して希望選択制昼食の提供可否について、課題の整理を行いながら、事業者・関係機関などとの協議を行って参りたいと考えています。

活気と魅力あふれる河内長野に

工藤

令和4年より、にぎわい創出のための活用が行われているモックル・フルル広場について、今後の活用をお尋ねします。

答弁

モックル・フルル広場の活用については、日本赤十字社による献血やNPO法人による花壇の整備、キッチンカーの出店など事業を実施しています。

また市制施行70周年記念事業では、ステージ上でのトークセッションやライブイベントが行われ、当日は天候不良にも関わらず2万人が来場され、賑わいが創出されました。

今後においては、来庁者の安全対策に十分留意しながら、新たに設置されます公民連携課を中心に、民間事業者がもつノウハウやアイデアなどを活かして、活気と魅力あふれるモックル・フルル広場となるよう取り組んでまいります。

(市議会のご報告は裏面に続きます)



子ども・若者の育ちを共に支える社会の形成について

工藤 体験活動の充実の一環として、ラーケーションを導入してはどうか。

答弁 ラーケーションは、保護者と余暇を利用し、楽しみながら学習する取組であり、愛知県や大分県別府市などが導入。新たな学習機会の創出やワーク・ライフ・バランスの充実などが期待される。

しかし、休暇を取得できない家庭がある、受けられなかった授業は自習で補完する、等公平性や学習補完の面で課題があり導入には慎重な判断が必要であると考えております。

※ラーケーションとは

ラーニング(学習)とバケーション(休暇)を合わせた造語で、平日に子どもが学校を休み、学校以外での体験活動などで学習を深めてもらう取り組みです。

既に導入している愛知県での、児童・生徒の保護者アンケートでは64.5%が子どもとの触れ合いが増えたと回答しています。

尚、総務省の「2021年社会生活基本調査」によると、有職者の方のうち土曜日は45.5%、日曜日は30.4%の方がお仕事をされています。

工藤 不登校児童・生徒の保護者に寄り添う支援について。

答弁 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置。悩みや不安を抱える子どもだけでなく、保護者も相談できる体制を整えている。

また、市役所やゆう☆ゆうスペースでの相談も行っており、ゆう☆ゆうスペースでは、同じ不登校の悩みを抱える保護者が集い、スクールカウンセラーと語り合える機会を設定し、不安や悩みに寄り添える場の充実を図っています。



工藤 使用期間が短い為、購入せずにレンタルを利用される方が多い、子育てスタート用品(新生児用品)のレンタル支援を導入してはどうか？

答弁 今、次年度からの機構改革に伴って、子育て支援策を充実させようということで、様々な角度からいろんな事業を展開しようと今計画をしているところでございます。総合的に判断してまいりたいと思います。

河内長野のきれいな空気を守るために

工藤 駅前に設置された喫煙スペースには屋根がないため、雨天では利用しづらいと聞いています。

また、パーティションで区切られているだけなので、受動喫煙を防ぐことはできません。コンテナ型喫煙所の設置を検討してはどうでしょうか。

答弁 喫煙所の設置に際しては、人の動線や物理的なスペース、費用面も含めて検討した上で、設備及び設置場所を決定した経緯がございます。

しかしながら、河内長野駅につきましては、歩道橋デッキが屋根代わりとなっていますが、その他の千代田駅・三日市町駅につきましては屋根がなく、雨天時の利用について課題がある点は認識しております。

(受動喫煙について)仕切りによって完全に副流煙が防げていないということを踏まえ、完全ではないのかなと認識しております。

今後、設備の更新が必要となった際には、コンテナ型喫煙所も含めた検討を行い、まちの美化を推進してまいります。

工藤 商工会女性部で月に1回、河内長野駅前清掃をしております。その時に、やはり一番多いのがたばこの吸い殻です。

歩きタバコ・ポイ捨て禁止についてより積極的に知っていただける機会を作ることはいかぬか。

答弁 職員によってパトロールを行っており、お声がけをする場合もある。

加えて、喫煙に関する注意喚起の意味でも看板を設置しているが、現状ひどい状況があることを踏まえて現場を確認し、何らかの取り組みにつなげていきたい。

※河内長野市では、「河内長野市路上喫煙の制限に関する条例」に基づき、河内長野駅、千代田駅、三日市町駅周辺の区域が「路上喫煙禁止区域」に指定されています。



1月12日(日) 河内長野市の消防が、大阪南広域消防になり、初めての消防出初式でした

過去の出初式では、毎年素晴らしい「はしご乗り演技」を見せていただきましたが、今回からは「救助訓練」を披露してくださり、負傷者をロープを使って体育館の2階から降ろす様子を見せていただきました。

消防や救急、消防団のみなさまの日頃の訓練の成果をすぐ近くで見せていただき感動！いつも河内長野市の安全を守っていただき、心から感謝申し上げます。



工藤 けいこ プロフィール

1975年12月25日 生まれ

(趣味:歌うこと/特技:掃除・力持ち/好きな食べ物:つぶあん/好きな動物:ねこ)

勝山愛和青葉台幼稚園 卒・市立南花台東小学校 卒・市立南花台中学校 卒・帝塚山学院高等学校 卒・帝塚山学院短期大学 卒・株式会社ダスキン入社。その後数社を経て株式会社アミューズ(ダスキン河内長野)入社。平成30年4月初当選。現在2期目。

[令和7年2月現在]

- ・予算常任委員会委員
- ・福祉教育常任委員会委員
- ・都市計画審議会委員
- ・河内長野市国際交流協会(KIFA)理事

- ・河内長野市 商工会女性部 副部長
- ・河川を美しくする市民の会委員
- ・河内長野ロータリークラブ 所属
- ・南花台福祉委員会理事
- ・南花台ごはんやday 運営スタッフ

Facebook



Instagram



Youtube



公式ホームページ

